



旧久喜宮小学校跡地に 朝倉市初の防災拠点施設が完成

施設は、鉄筋コンクリート造平屋で延床面積は約 390 m²。平常時は、地域防災力の向上を図るため、防災訓練や地域活動、研修会など防災教育の場として活用。非常食や飲料水などの備蓄倉庫や炊き出しをする調理室なども備え、災害時は、防災対策拠点やボランティアセンター、物資集積場として活用します。

3月22日に開催された内覧会では、報道陣へ向けて市長などが施設について説明。市では引き続き、ハード・ソフト両面から地域防災力の向上を進めていきます。現地を確認した久喜宮地区自主防災会・原田会長は「住民の歴史と思いが刻まれたこの地が生まれ変わることをうれしく思う。自分の命は自分で守る、自分たちの地域は自分たちで守るという意識のもと、安全な地域づくりに取り組みたい」と述べました。

☎ 市復興推進室(☎ 28-7134)



▲旧久喜宮小学校体育館(左)と完成した「防災拠点施設」。隣接地には住宅分譲地も。



▶現地を確認し、報道陣の前で復興への思いを述べる林市長の報



黒川(北小路)～佐田(疋目)区間 朝倉小石原線の一般車両の通行が可能に

平成29年7月九州北部豪雨の影響で全面通行止めとしていた右図の区間では、4月1日から一般車両の通行ができるようになりました。

※一部施工中の箇所があります。通行の際はご注意ください。

☎ 朝倉県土整備事務所災害事業センター災害事業調整課(☎ 41-2477)



妙見橋(国道386号)の架替え完了

朝倉県土整備事務所では、平成29年7月九州北部豪雨により被災した河川の改良復旧工事を進めています。今回、河川の拡幅に伴う妙見橋の架替え工事が完了しました。5月中旬から、本線の通行が可能になります。※切り替えの日は、現地に看板を設置してお知らせします。

☎ 朝倉県土整備事務所災害事業センター災害河川第3課(☎ 41-4093)



4月から復旧・復興に専門的に携わる職員の紹介

1日も早い復旧・復興のため、尽力します

総務部付部長(復興推進担当) 藤 浩二郎

平成29年7月九州北部豪雨からまもなく4年。令和2年度から「再生期」として、地域の活力を回復し、価値を高める段階に入っており、そのような中での着任に身の引き締まる思いです。被災地域の皆さまに1日でも早く平穏な日々が戻りますよう、全力を尽くします。

【略歴】昭和47年生まれ。平成8年福岡県に入庁。平成29年7月九州北部豪雨を機に8月から朝倉県土整備事務所に赴任、河川の災害復旧を担当。その後、県道路維持課(令和元・2年度)を経て就任。

